

# オキドキニュース 三月号



二十四節季

啓蟄(けいちつ)  
春分(しゅんぶん)

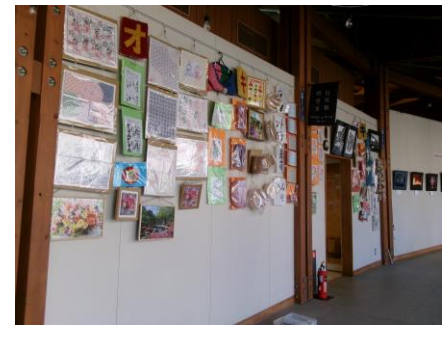
三月六日 冬ごもり中の虫が目覚まし姿をあらわす。  
三月二十一日 昼と夜の時間が同じ。

## 作品展(瀬音の湯)

二月三日から三月二十九日まであきる野市内にある「瀬音の湯」展示スペースにご利用者の皆さんの作品を展示させて頂きました。この作品展は、入所・通所のご利用者様が、クラブ活動などで作成した様々な作品を展示しています。

この展示場所は、「瀬音の湯」入口から大浴場へ向かう館内通路の右側の位置する壁面であり、「ここは他の入場者の目にも触れやすい場所にあります。ご興味のある方は、「瀬音の湯」まで足を延ばしてはいかがでしょうか。

## オキドキ 作品展 N 瀬音の湯



瀬音の湯 営業時間  
10:00~21:00(受付20:00まで)

## 『ドライブツアー』

日時 三月三十日、三十一日(土・日)  
九時三十分から  
場所 施設近隣の桜並木をドライブする予定です。

## 世界のグルメ「ハッシュドビーフ」

ハッシュドビーフは牛肉や玉ねぎを薄切りにして煮込んだ料理です。屋食に提供するのは是非、「ご賞味下さい。」

## 3月19日 屋食に提供



写真はあくまでイメージです。

## 「不要な品はお持ち帰り下さい。」

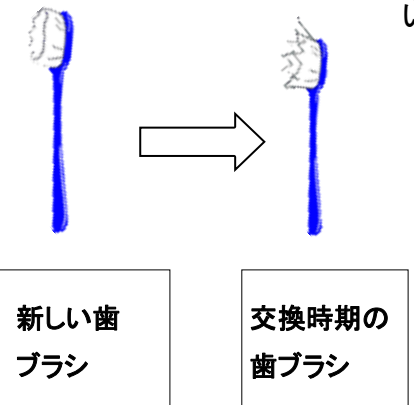
当施設は、限られた居住空間の中で、ご利用者の皆様にご利用いただいております。床頭台以外の場所に衣装ケース・荷物等を置かれますと、ご利用者様の移動の妨げや、ベッド周辺が不衛生になるなどの問題が生じます。このため、必ず以上の荷物の「持込み」は「ご遠慮下さい。」また、「ご使用にならない 衣類」「クラブの作品」など、頻繁にお使いにならない品などは、この機会にお持ち帰りをお願い致します。ご利用者皆様の快適な生活を保つためにも、「関係者の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い致します。」



## 歯ブラシの交換について

「ご入所中の皆様には、歯ブラシをご持参載いておりますが、歯ブラシの毛先が広がらず、まだまだ見えそうに見えても、歯ブラシの弾力は弱くなっています。また、歯ブラシの毛が広がっていると歯垢を落としにくくなります。歯ブラシの取り替え時期は1ヶ月に1回が目安とされており、ご入所中の正しい歯のブラッシングが出来ますように、「ご家族の皆様には定期的な歯ブラシの交換をお願い致します。また、必ず歯ブラシには、名前をお書き下さい。」

歯ブラシは定期的に交換しましょう



新しい歯ブラシ

交換時期の歯ブラシ

## 訪問歯科の変更について

この度、「高野歯科クリニック」の諸事情により令和六年一月三十一日をもって診療を終了となりました。後任の訪問歯科に関しては、令和6年3月から毎週月曜日に「ながさか歯科クリニック」の長坂 信昌先生が訪問診療に来て頂けることに決定しましたのでお知らせします。

## 持ち物には「お名前」を記入下さい！

施設に衣類などお持ちになる場合、他のご利用者様の衣類などと間違いがないように、必ずお名前を記入されるようお願い致します。また、「フルネーム」での記入もお願い致します。



## 《総務課より》

利用料のお支払いは毎月十五日までとなっておりますので、ご協力ください。尚、窓口でのお支払いは年中無休、午前九時〜午後四時までとなっております。

## マヨネーズの歴史

三月一日は「マヨネーズの日」と言い「ご存じですか。日本で初めてのマヨネーズを製造・販売したのが大正十四年の三月である」と。さらに、日本初ということにちなんで一日としています。キューピー株式会社は二〇一五年三月に「マヨネーズの日」制定しました。日本にきたのは株式会社キューピーの創始者である中島董一郎氏だと言われています。アメリカでは、日常的に野菜サラダにかけるれていたマヨネーズを見て、その作り方や味を学び帰国した後、中島は日本人の体格と健康の向上を願って、アメリカのものの倍量の卵を使って作られたマヨネーズを日本で発売しようと考え販売しました。現在のようなチューブではなく瓶詰め、当時からラベルにはキューピーちゃんの絵が描かれていました。マヨネーズはやがて世間に広まり、一九四一年の年間出荷量は五〇〇t近くまで伸びました。しかし、第二次世界大戦のために原料入手が困難になると、「よい原料がなければマヨネーズを作るべきではない」と製造を休止。その後、製造を再開したのは終戦から三年たった一九四八年のことでした。マヨネーズは日本の食文化と相性もよく、現在、マヨネーズは家庭に欠かせない調味料の一つになっています。